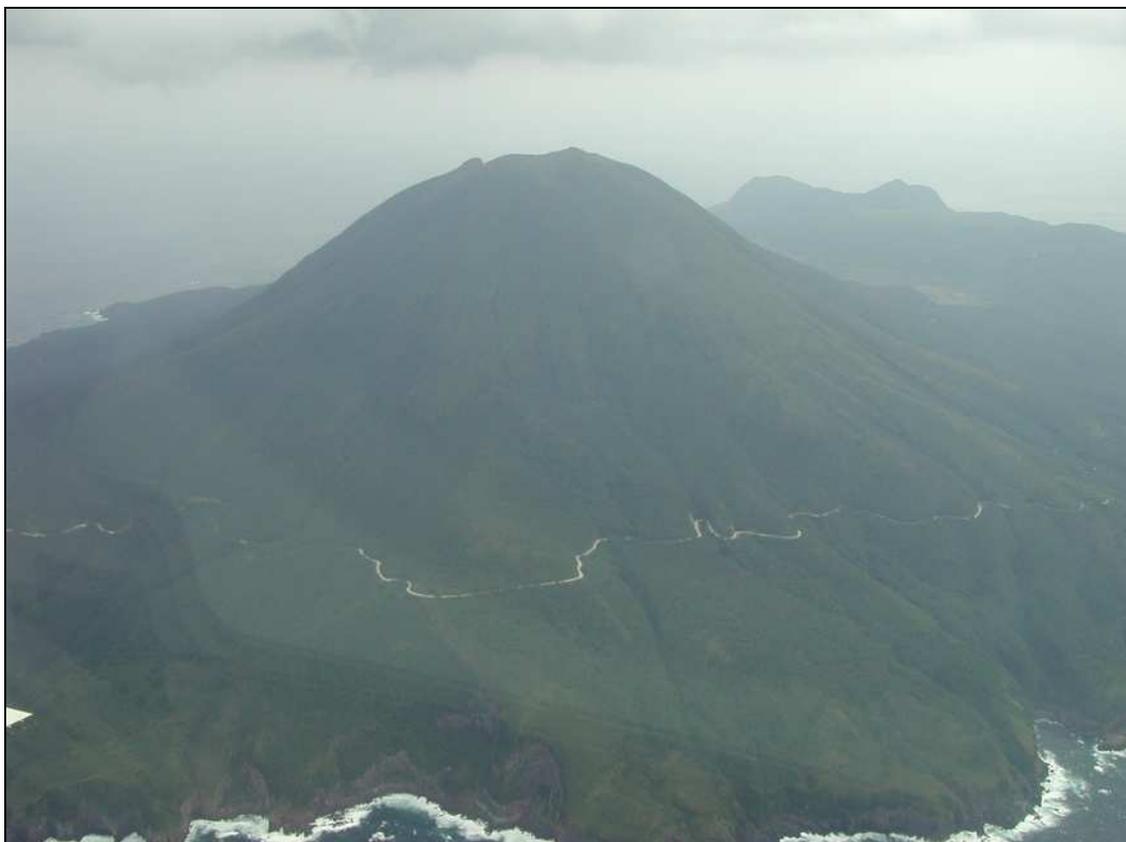


96. <sup>なかのしま</sup>中之島 Nakanoshima

北緯 29° 51' 33" 東経 129° 51' 25" 標高 979m (御岳)(三角点・中之島2)



中之島全景 北西上空から 2005年3月2日 気象庁撮影

**概要**

2火山が接合し、北西 - 南東 9km、北東 - 南西 5km の島をなすが、有史以降の噴火は北西側の御岳に限られる。御岳は安山岩の成層火山。山頂火口内や南東側山腹には噴気孔がある。

写真



御岳山頂火口 2006年3月14日 気象庁撮影

地形図

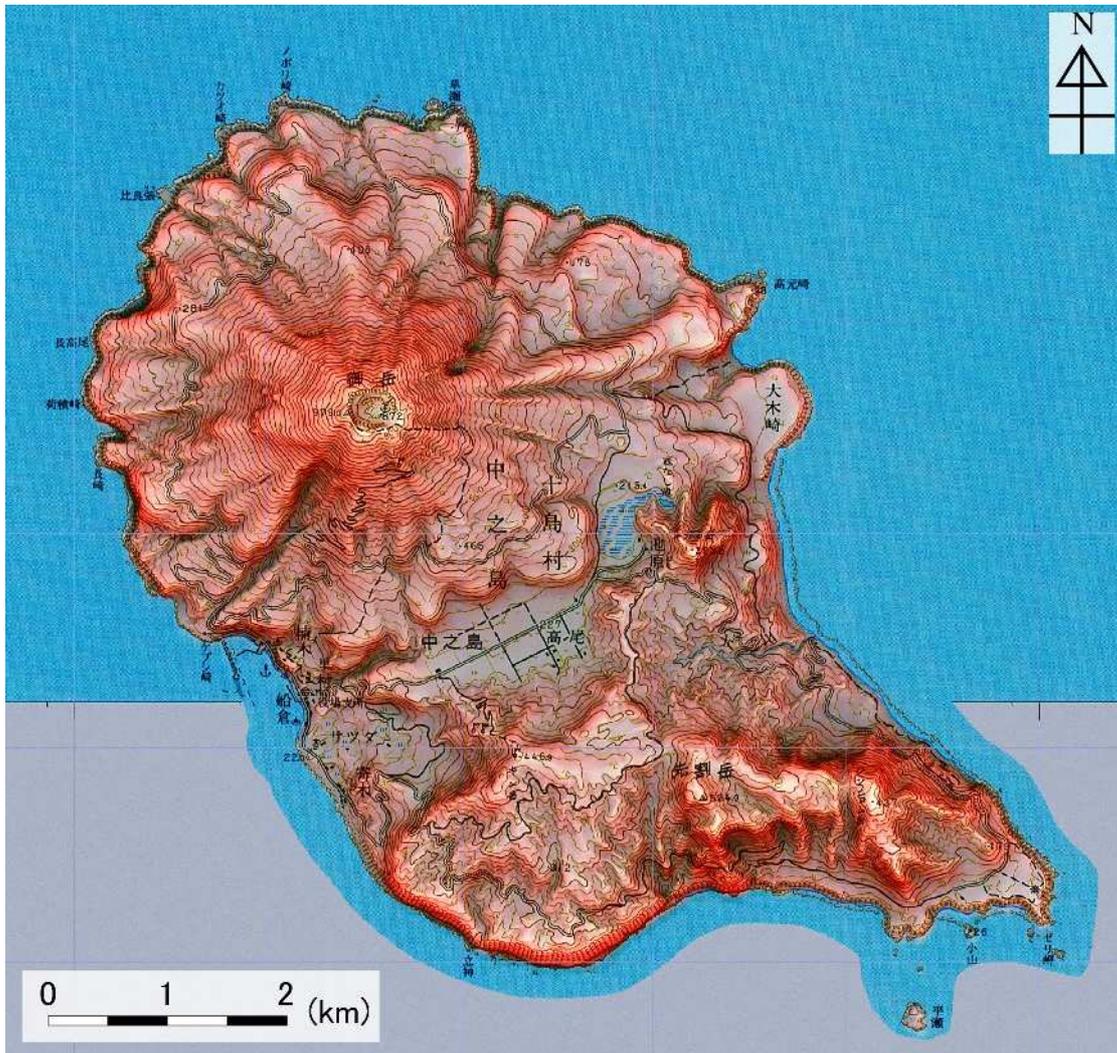


図 96-1 中之島の地形図.

国土地理院発行の5万分の1地形図(中之島)及び数値地図50mメッシュ(標高)

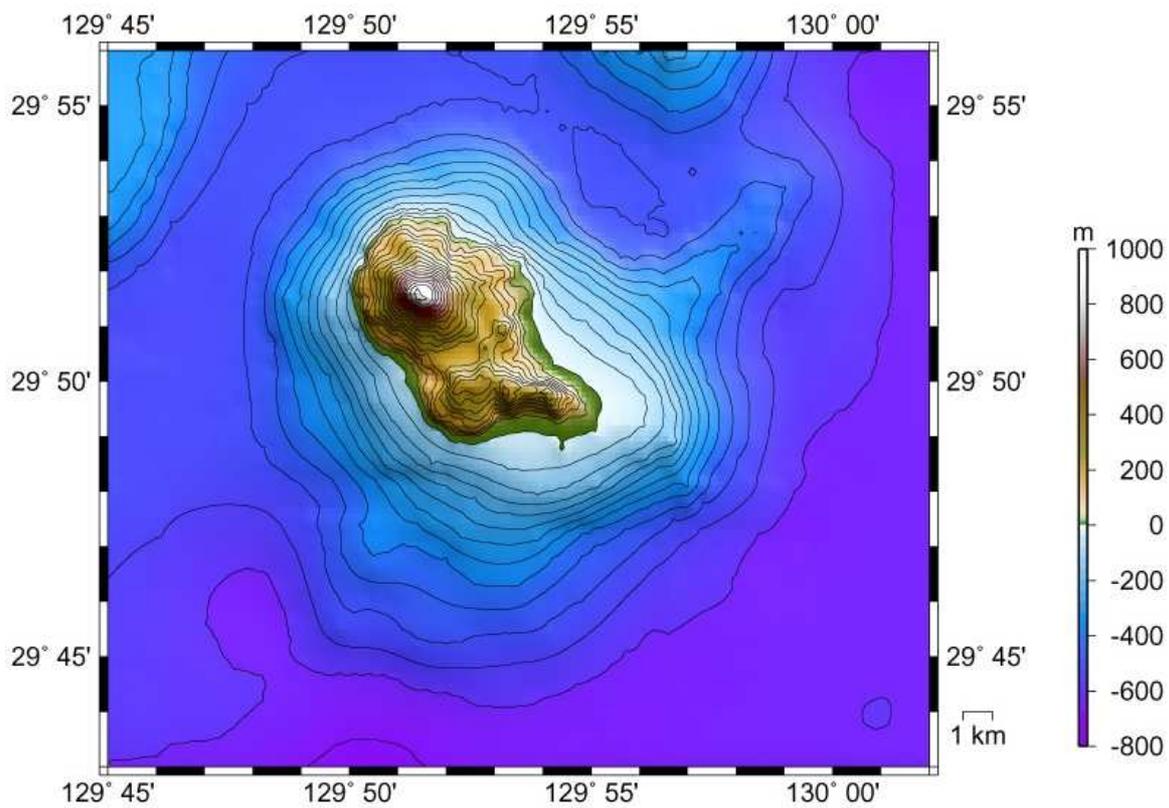


図 96-2 中之島周辺の海底地形図 (海上保安庁海洋情報部).

地質図

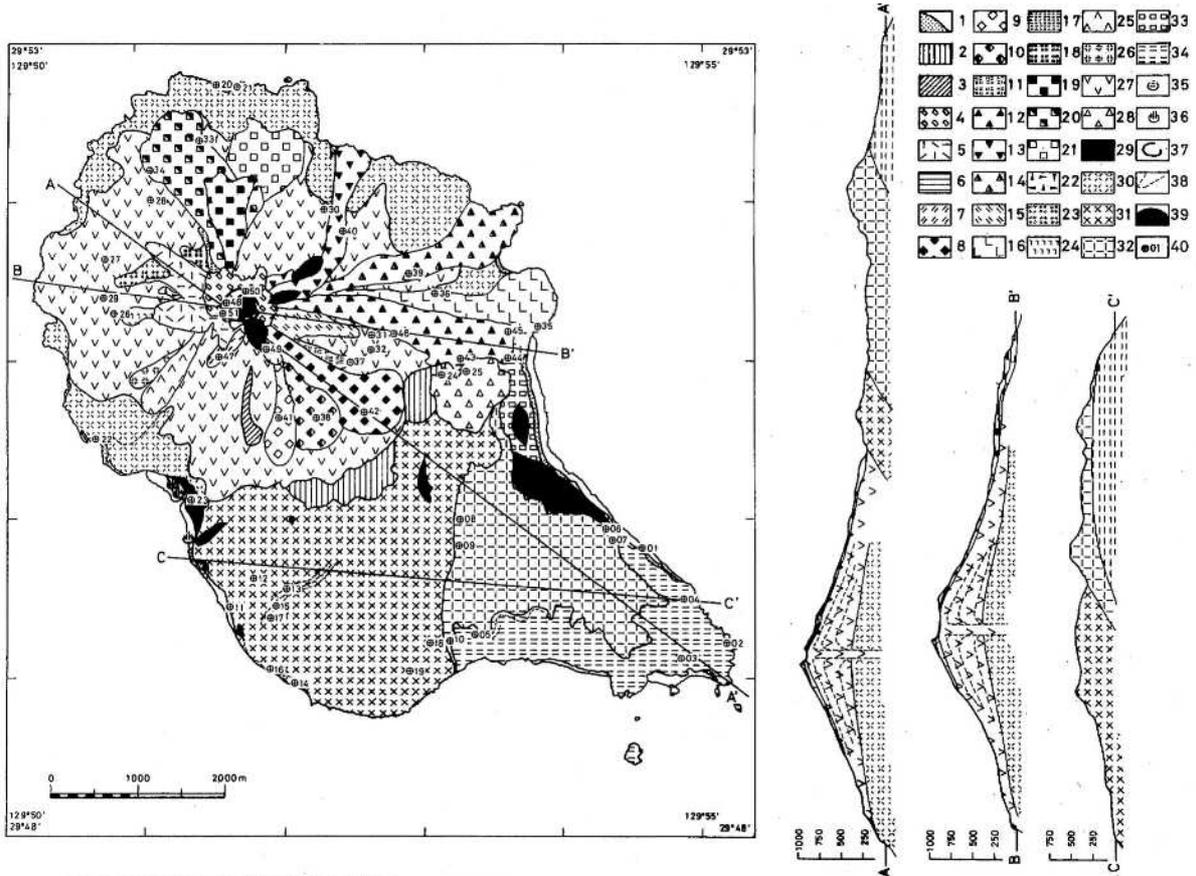


図 96-3 中之島の地質構造図 (Daishi,1989).

- 1. 海岸付近の砂利、及び珊瑚礁, 2. 沖積層, 3. 扇状地堆積物, 4. T2 火砕岩, 5. T1 火砕岩,
- 6. 隆起した珊瑚礁, 7. S5 溶岩, 8. S4 溶岩, 9. S3 溶岩, 10. S2 溶岩, 11. S1 溶岩, 12. E5 溶岩, 13. E4 溶岩,
- 14. E3 溶岩, 15. E2 溶岩, 16. E1 溶岩, 17. N5 溶岩, 18. N4 溶岩, 19. N3 溶岩, 20. N2 溶岩, 21. N1 溶岩,
- 22. W5 溶岩, 23. W4 溶岩, 24. W3 溶岩, 25. W2 溶岩, 26. W1 溶岩, 27. 新期御岳火山, 28. ネガミ岳安山岩
- 29. 濁浦安山岩, 30. 古期御岳火山, 31. 椎崎安山岩, 32. 先割岳安山岩, 33. 七つ山安山岩,
- 34. セリ崎安山岩, 35. 噴気地帯, 36. 温泉, 37. 火口, 38. フローユニット境界, 39. 変質帯,
- 40. 分析に使用した地点番号 (本冊子では掲載略)

## 噴火活動史

### ・過去1万年間の噴火活動

降下火砕物はすべて鬼界アカホヤ火山灰(7,300年前)よりも古い(森脇・他, 2009)が、最新の溶岩はそれよりも新しい(Daishi, 1989; 中野・他, 2008)。

噴火年代	噴火場所	噴火様式	主な現象・マグマ噴出量
7.3ka < <sup>4</sup>	御岳付近 <sup>4</sup>	マグマ噴火 <sup>4</sup>	火砕物(NK-1)降下。
7.3ka < <sup>3,4</sup>	御岳付近 <sup>4</sup>	マグマ噴火 <sup>4</sup>	火砕物(NK-2)降下。

噴火イベントの年代、噴火場所、噴火様式等については、(独)産業技術総合研究所の活火山データベース(工藤・星住, 2006-)を参考に、文献の追記を行った。なお、年代は暦年代で示す。表中の「ka」は「1000年前」を意味し、西暦2000年を0 kaとして示した。

A< : A年以前に起こった噴火イベント

### ・有史以降の火山活動( は噴火年を示す)

年代	現象	活動経過・被害状況等
1914(大正3)年 <sup>1</sup>	水蒸気噴火? <sup>1</sup>	1月。山頂噴気孔底から泥土噴出。噴火場所は御岳山頂火口 <sup>1</sup> 。
1949(昭和24)年 <sup>2,5</sup>	噴煙 <sup>2,5</sup>	10月。噴煙多量 <sup>2,5</sup> 。
1973(昭和48)年 <sup>5</sup>	噴煙 <sup>5</sup>	噴煙多量 <sup>5</sup> 。

噴火イベントの年代、噴火場所、噴火様式等については、(独)産業技術総合研究所の活火山データベース(工藤・星住, 2006-)を参考に、文献の追記を行った。

#### 【引用文献】

1. 大森房吉 (1918) 日本噴火志, 上編. 震災予防調査会報告, **86**, 1-236.
2. 福岡管区気象台 (1990) 九州地方の火山. 福岡管区気象台要報, **45**, 153-154.
3. 森脇 広・他 (2002) トカラ列島の第四紀テフラ. 日本第四紀学会講演要旨集, **32**, 32-33.
4. 森脇 広・永迫俊郎 (2006) トカラ列島における第四紀後期のテフラ編年. 地球惑星科学連合 2006 年大会予稿集 (CD-ROM), Q126-P009.
5. 福岡管区気象台 (2002) 九州地方の火山. 福岡管区気象台要報, **57**, 225-228.

## 近年の火山活動

広域地震観測網による浅部の地震活動については、口之島を参照。

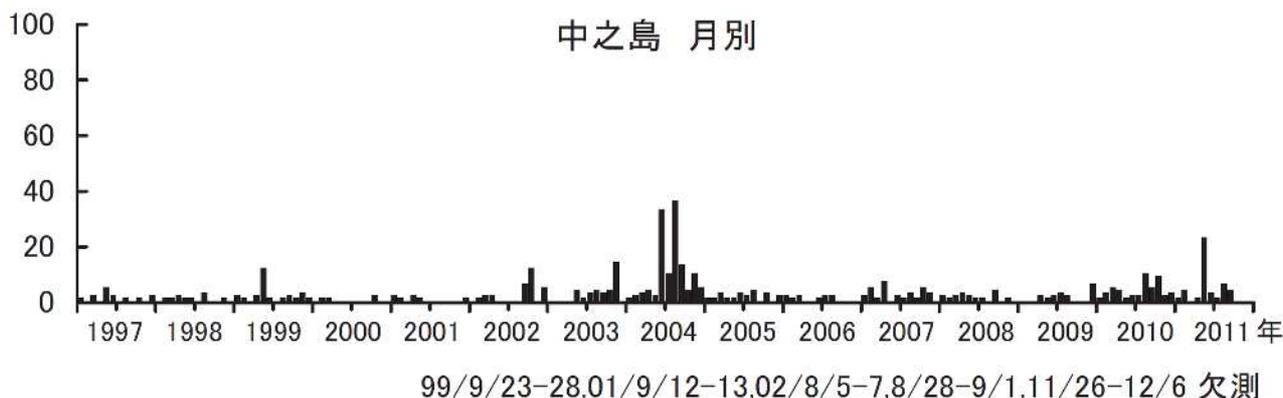


図 96-4 月別地震活動 (1997年~2012年6月10日) (京都大学, 2012).

東北地方太平洋沖地震(2011年3月11日)以降、地震が一時的に増加したが4月以降は平常となった。

## 防災に関する情報

### 火山防災協議会

関係都道府県	火山防災協議会の名称	設置	最近の主な活動の内容
鹿児島県	中之島噴火災害対策連絡会議 (活動活発化時のみ開催)	-	・活動活発時に、活動状況、避難の必要性の有無などを村長に助言する。
構成機関			
火山防災協議会のコアグループに相当する機関 ( は事務局)		左に挙げた以外の構成機関	
県(防災部局) 鹿児島県危機管理防災課 市町村 十島村 気象台 鹿児島地方気象台 砂防部局  火山専門家等 京都大学、鹿児島大学		関係機関 (国)第十管区海上保安本部、陸上自衛隊第12普通科連隊、 海上自衛隊第1航空群、九州運輸局鹿児島運輸支局、 九州農政局鹿児島農政事務所 (警察・消防)鹿児島県警察本部 (その他)日本赤十字社鹿児島県支部、NTT西日本鹿児島支店、 九州電力鹿児島支店	

### 火山ハザードマップ等

- ・「中之島火山災害危険区域予測図」
- ・「中之島防災情報図」
- ・いずれも鹿児島県 1996 年度作成

URL :

[http://www.pref.kagoshima.jp/aj01/bosai/sonae/keikaku/h23/documents/24696\\_20120419165819-1.pdf](http://www.pref.kagoshima.jp/aj01/bosai/sonae/keikaku/h23/documents/24696_20120419165819-1.pdf)

避難実績及び入山規制等の実績  
いずれもなし

## 社会条件等

### 人口

十島村 607 人(中之島:134 人)(十島村:平成 23 年 10 月 31 日現在)

### 国立・国定公園・登山者数等

- ・国立・国定公園:指定なし。但し、鹿児島県立自然公園
- ・年間観光客 :1,891 人(平成 22 年十島村調べ)・年間登山者数: -

### 付近の公共機関

機関・部署名	所在地	電話番号
十島村役場	鹿児島市泉町 14-15	099-222-2101
十島村役場中之島出張所	鹿児島県鹿児島郡十島村中之島 17	09912-2-2101
十島村開発総合センター	鹿児島県鹿児島郡十島村中之島 145	
天文台・歴史民俗資料館	鹿児島県鹿児島郡十島村中之島 150-241	

### 主要交通網

- ・船舶 村営船フェリーとしま(200 名):鹿児島 - 各島 - 宝島及び名瀬

### 関連施設

なし

## 関係する主な気象官署

機関・部署名	所在地	電話番号
福岡火山監視・情報センター	(福岡管区気象台)福岡県福岡市中央区大濠 1-2-36	092-725-3601
鹿児島地方気象台	鹿児島県鹿児島市東郡元町 4-1	099-250-9911

# 気象庁および大学等関係機関の観測網

広域

諏訪之瀬島の図を参照。

## 山頂付近

同一地点に複数の計器を設置している場合には、観測点の位置を で示し、その周囲に設置している観測点の種類を示している。



国土地理院発行の5万分の1地形図(中之島)

凡 例	
(気象庁)	(京都大学防災研究所)
遠望カメラ	地震計 (短周期)
震度計	GPS
地震計 (短周期)	(自治体)
(地震津波観測)	震度計

図 96-5 観測点位置図 (山頂付近).

## 引用文献

- Daishi, M. (1989) Volcanic geology and rocks of Nakanoshima, Tokara Islands, Kagoshima Prefecture, Japan. *Jour. Geosci. Osaka City Univ.*, **32**, 1-22.
- 森脇 広・他 (2009) トカラ列島における後期更新世以降のテフラ. *第四紀研究*, **48**, 271-287.
- 中野 俊・他 (2008) 20 万分の 1 地質図幅「中之島及び宝島」. 産総研地質調査総合センター.
- 京都大学 (2012) 第 123 回火山噴火予知連絡会資料 (中之島資料).